

スティーブ・マックイーン等欧米の著名人が、ジャーナリスト起訴取り消しを求め、  
アンゴラ大統領への公開書簡に署名。

日本からはNPO法人ダイヤモンド・フォー・ピースが。

欧米の著名人やティファニー等のジュエラーを含むビジネス業界の人々が、2015年6月2日、ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントスアンゴラ大統領に対して、ジャーナリスト、ラファエル・マルケス・デ・モライス氏への起訴を取り下げを要求する公開書簡を公開しました。日本からは特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース（横浜市）が署名しています。



アンゴラ人ジャーナリストおよび人権擁護活動家のラファエル・マルケス・デ・モライス氏

(撮影: Alex Brenner for Index on Censorship) Index on Censorship の許可を得て掲載

ジャーナリストであるラファエル・マルケス・デ・モライス氏は、2011年、書籍『ブラッド・ダイヤモンド』をポルトガルで出版しました。この書籍の中でモライス氏は、アンゴラのダイヤモンド採掘地域における拷問や殺人など100以上の人権侵害事例を暴いています。これらの人権侵害は、腐敗したアンゴラ政府高官たちによる組織的犯行だと書籍の中で同氏は述べています。

この書籍を出版後、モライス氏は拷問や殺人の責任者として考えられる9名の将軍と会社経営陣を提訴しました。しかしアンゴラの司法長官は、同件の処理を延期し、被告となった将軍及び企業経営者たちがモライス氏を名誉毀損等九つの罪で起訴し、モライス氏に有罪判決が下されたのが今回の事件です。モライス氏は裁判で証人を呼ぶことも証拠を提示することも許されず、懲役2年執行猶予6か月の判決を5月28日に言い渡されました（モライス氏は控訴予定）。

今回の公開書簡は、言論の自由を促進する活動を実施している非営利団体インデックス・オン・センサーシップ（本部イギリス）が企画及びとりまとめを行い、6月4日に在ロンドンのアンゴラ大使館に届けたものです。日本からは、ダイヤモンドに関わる課題の啓発や、

貧困に苦しむ零細ダイヤモンド採掘労働者を支援する特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピースがオンライン署名をしています。同法人は署名後、本件に関する声明を発表しました。声明はこちらをごらんください。

<http://diamondsforpeace.org/statement-openletter-angola/>

この公開書簡への主な署名者は、ティファニー社、イギリスのテック業界起業家マーサ・レイン・フォックス、ウィキペディア創設者ジミー・ウェールズ、イギリスの作家フィリップ・プルマン、作家ニール・ゲイマンやエリフ・シャファック、女優ジャネット・スズマン、ジュリエット・ステイーヴンソン、俳優サイモン・キャロウ、脚本家ハワード・ブレントン、ティンバーレイク・ワートンベイカー、映画『それでも夜は明ける』の監督スティーブ・マックイーンです。

### 【公開書簡の内容】

私たち下記の署名者は、ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントスアンゴラ大統領に、ジャーナリスト、ラファエル・マルケス・デ・モライス氏への起訴を取り下げるよう要請する。

アンゴラの人権侵害に関するモライス氏の調査は、裁判所が下した懲役 2 年の脅しによって妨げられるべきものではない。

モライス氏への有罪判決と 6 か月の執行猶予は、言論の自由、公平な裁判及び出版の自由に対する妨害であるのは明らかである。

モライス氏の調査報告は、アンゴラにとってだけでなく世界全体にとって重要である。

私たちは、同氏の控訴の過程に国際法の基準の適用が保証されるよう、貴殿に要請する。

敬具

(以下アルファベット順)

アリ・フェルザット、漫画家

アンジェラ・クインタル、メール・アンド・ガーディアン、南アフリカ共和国

アン・レズリー (英国受勲者)、ジャーナリスト

アンソニー・バーリン、弁護士

アート・カフマン、ワールド・ムーブメント・フォー・デモクラシー

ボブ・フー、チャイナエイド創始者及び代表

ブリリアント・アース・ジュエリー社

カール・ガーシュマン、ナショナル・エンドーメント・フォー・デモクラシー代表

シャンタル・ウウィマナ、トランスペアレンシー・インターナショナル

村上千恵、特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース代表理事

クリストファー・ハード、映画プロデューサー

クリストフ・デロワ、レポーターズ・ウィザウト・ボーダーズ代表

クリスティーナ・ラム (英国受勲者)、ジャーナリスト  
デビッド・アーロノビッチ、コラムニスト  
デビッド・ヘアウッド (英国受勲者)、俳優  
デビッド・マクーン、出版者  
デビッド・シュレシンジャー、トライポッド・アドバイザー創始者  
ドレダ・セイ・ミッチェル、作家  
エドワード・フィッツジェラルド (英国受勲者)、弁護士  
エレイン・ポッター、ジャーナリスト  
エリフ・シャファック、作家  
ジェフリー・ホスキン (英国受勲者)、歴史学者  
グリゴリー・パスコ、ジャーナリスト  
ハロルド・エバンス卿、ジャーナリスト  
ハワード・ブレントン、脚本家  
イドラック・アバソフ、ジャーナリスト  
ジャネット・スズマン、女優及び監督  
ジェスパー・ホジュバーク、インターナショナル・メディア・サポート代表  
ジェフリー・スミス、ロバート・F・ケネディ・センター・フォー・ジャスティス・アンド・  
ヒューマン・ライツ  
ジミー・ウェールズ、ウィキペディア創始者  
ジョディ・ギンズバーク、インデックス・オン・センサーシップ代表  
ジョン・ウイスロウ、The Times 編集者  
ジュリエット・スティーヴンソン、女優  
カミラ・シャムジー、作家  
コスタス・ヴァクセヴァニス、ジャーナリスト  
ララ・ポーソン、『In the Name of the People: Angola's Forgotten Massacre (和訳：人々  
の名において：アンゴラの忘れられた大虐殺)』著者  
ラリー・キルマン、世界新聞協会(WAN-IFRA)代表  
レーバー・ジュエラー社  
リー・ハーシュ、映画監督  
リンジー・ヒルサム、ジャーナリスト  
ルイズ・レッドバース、ジャーナリスト  
マリアンヌ・パール、ジャーナリスト  
マーク・ステファンズ (英国受勲者)、ハワード・ケネディ社  
マーサ・レイン・フォックス (英国受勲者)、貴族院  
メアリー・ロウラー、フロントライン・ディフェンダーズ代表  
マヤ・ウォルフ・ロビンソン、ジャーナリスト  
マシュー・ダンコナ、ジャーナリスト  
マシュー・パリス、ジャーナリスト  
モハメド・アルダラジー、映画監督  
ニール・ゲイマン、作家  
ポール・ウェブスター、映画プロデューサー

ピーター・オボーン、ジャーナリスト  
ピーター・ケルナー、YouGov 代表  
ピーター・ポメラントセフ、作家  
ピーター・タッチェル、ピーター・タッチェル・ファウンデーション代表  
フィリップ・プルマン、作家  
ラヒム・ハシエフ、Azadliq 編集者、アゼルバイジャン  
リチャード・サムブルック、カーディフ大学センター・フォー・ジャーナリズム代表  
ロナルド・デイバート、学者  
ロバート・マクラン、作家及び編集者  
サナール・ユータパン、イニシアチブ・フォー・フリーダム・オブ・エクスプレッショ  
ン、トルコ  
シュブランシュ・チョーダリー、ジャーナリスト  
サイモン・カロウ（英国受勲者）、俳優  
スティーブ・マックイーン（英国受勲者）、映画監督  
スー・ウッドフォードホリック（英国受勲者）  
スー・ヴァレンタイン、コミティー・トゥ・プロテクト・ジャーナリスト・アフリカ・プ  
ログラム  
スザンヌ・ノッセル、PEN アメリカ・センター代表  
ステファン・フル、ハフントンポスト UK 編集長  
トーマス・フェー、アーティクル 19 代表  
ティファニー社  
ティンバーレイク・ワーテンベイカー、脚本家  
チュリ・ムンテ、デモティックス創始者  
ヨアフ・シャミール、映画制作者  
ジヤド・マラー、出版者

#### 【ご参考】

この公開書簡に関する記事は、ダイヤモンド・フォー・ピースのウェブサイトでもご覧いただけます。

<http://diamondsforpeace.org/rafael-marques-de-morais/>

本件に関するダイヤモンド・フォー・ピースの声明

<http://diamondsforpeace.org/statement-openletter-angola/>

#### 【当りリリースへのお問い合わせ先】

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース

〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町 1-2-1 中央第 6 関内ビル 302

TEL 045-883-7817（株ピースダイヤモンド内）

<http://diamondsforpeace.org>

[info@diamondsforpeace.org](mailto:info@diamondsforpeace.org)

担当：村上千恵